

# 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

## 1 教科に関する調査結果

### (1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：%

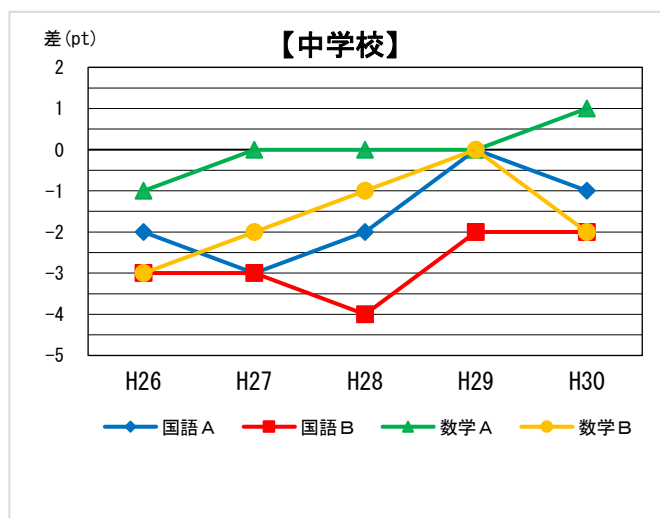
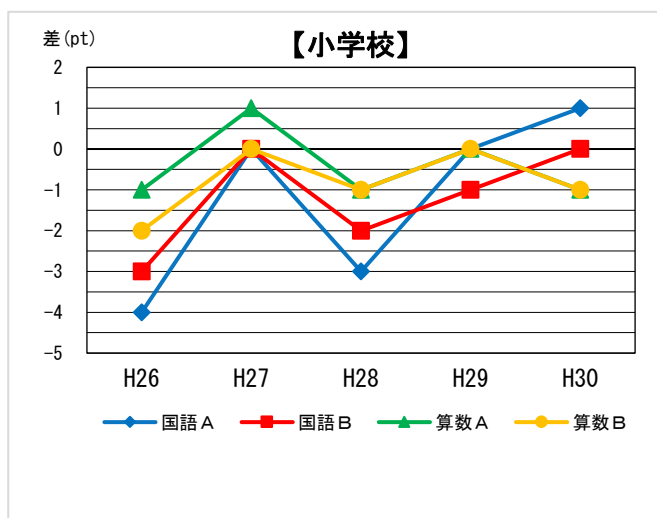
	小国A	小国B	小算A	小算B	合計	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	合計	中理
県	72	55	63	51	241	60	75	59	67	45	246	65
全国	71	55	64	52	242	60	76	61	66	47	250	66
差	1	0	-1	-1	-1	0	-1	-2	1	-2	-4	-1

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。合計については、理科を除いている。

### (2) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

単位：pt(ポイント)

	小国A	小国B	小算A	小算B	小理	中国A	中国B	中数A	中数B	中理
H26	-4	-3	-1	-2		-2	-3	-1	-3	
H27	0	0	1	0	-2	-3	-3	0	-2	-3
H28	-3	-2	-1	-1		-2	-4	0	-1	
H29	0	-1	0	0		0	-2	0	0	
H30	1	0	-1	-1	0	-1	-2	1	-2	-1



### (3) 調査結果の特徴

小学校は、国語A・B、算数A・Bの合計の結果が、過去最高（20位）となった。  
 中学校は、昨年度の結果をやや下回ったが、一昨年度からは改善してきており、特に数学A（10位）は全国平均を上回った。

#### ○成果

- ・小学校国語のA問題が、調査開始以来、初めて全国平均を上回った（10位）。
- ・小・中学校の理科は、平成27年度の調査結果と比べて、全国平均との差が縮まった。
- ・無解答率は、中学校国語のB問題でわずかに全国平均より高くなったが、それ以外の教科で、全国平均より低くなった。

#### ●課題

- ・小学校算数のA問題では、数量の関係を理解し数直線上に表す問題の正答率が、全国平均を下回った。
- ・中学校国語と数学のB問題では、読み解いたことを用いて、自分の考えを書く問題の正答率が、全国平均を下回った。

## 2 質問紙調査の結果

単位：pt(ポイント)

### ○成果

- ・「算数・数学の授業の内容はよく分かる」と回答した子供の割合が、さらに増加した。  
【全国差 小学校+3.0pt、中学校+4.0pt】  
【H29との差 小学校+3.2pt、中学校+2.2pt】→概要 P6(1)②
- ・小学校では、「学校の授業の予習・復習をする」と回答した子供の割合が、全国を上回った。  
【全国差 小学校+2.9pt】→概要 P8(3)②
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけない」と回答した子供の割合が、さらに増加した。  
【全国差 小学校+0.8pt、中学校+0.5pt】  
【H29との差 小学校+0.8pt、中学校+2.3pt】→概要 P8(4)④
- ・「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した子供の割合が、全国を上回った。  
【全国差 小学校+3.2pt、中学校+1.0pt】→概要 P9(5)①

### ●課題

- ・理科の観察・実験に対して、肯定的に回答した子供の割合が低い。  
【「予想をもとに計画を立てる」：全国差 小学校-1.9pt、中学校-8.1pt】→概要 P6(1)⑤  
【「進め方・考え方を振り返る」：全国差 小学校-2.0pt、中学校-7.1pt】→概要 P7(1)⑦
- ・自ら学習に取り組むことや工夫して発表することに対して、肯定的に回答した子供の割合が低い。  
【「自ら学習に取り組む」：全国差 小学校-1.4pt、中学校-3.6pt】→概要 P7(2)①  
【「工夫して発表する」：全国差 小学校-2.6pt、中学校-6.3pt】→概要 P7(2)②
- ・学校の授業時間以外に全く読書をしない子供の割合が、全国より高い。  
【全国差 小学校+0.9pt、中学校+7.9pt】→概要 P8(3)③

## 3 これまでの主な取組

- 県教育委員会、市町村教育委員会、学校が一体となって、下記の学力向上対策に取り組んだ。
  - ・全ての小・中学校で、学力向上プログラムに基づいた組織的な検証改善サイクルを実行
  - ・市町村教育委員会とともに、課題の大きい学校を重点的に訪問し、各学校の課題改善に向けた取組を指導・支援
  - ・「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底し、子供が見通しを持って意欲的に取り組める授業を実践
  - ・授業事例集（国・理）の活用による思考力・判断力・表現力を高める授業を実践
  - ・マスター問題集（国・理）、評価問題、評価テストを配信し、課題改善に向けた取組を徹底

## 4 今後の主な取組

- 市町村教育委員会指導事務担当者等会議
- 学力向上推進に係る研修会
  - ・開催：紀北・紀南の部 内容：国語、算数・数学 対象：小5・中2〈国・数〉担当教員
  - ・開催：地方別6会場 内容：理科 対象：小・中学校理科担当教員
  - ・開催：紀北・紀南の部 内容：英語 対象：中学校英語担当教員
- 課題別学校訪問（対象：学力や学習状況等に課題のある学校）
- 和歌山県学習到達度調査（対象：小4・5と中1・2 教科：国、算・数、理〈小5と中2〉）
- 評価問題（対象：小5・6と中1・2 教科：国、算・数、理）、評価テスト（対象：小5と中2 教科：国、算・数、理、英〈中2〉）、長期休業中の家庭学習用教材（国、算・数、英）の配信
- 地方別小中学校長研修会、地方別小中学校教頭研修会